

## イタリア通信 ～6月～

### イタリア最初の国会 – トリノ

イタリアではこの時期、野原に赤いポピーの花が咲き乱れます。そして不思議なのは特に線路沿いにたくさん咲いていることです。ポピーの小さい種がパンの上に振り掛けられたりしていますが、中には栽培禁止の種類もあるようです。

ところで、イタリアで最近話題なのはサル痘です。最初の患者が見つかりコロナ同様注意喚起されました。

気温が上昇しているせいかコロナ感染者は大幅に減少し、交通機関、劇場、屋内のスポーツ施設以外マスク着用義務撤廃になりました。但し、検査数も減り、症状が出て検査しない人が増えていると思うため、感染者数は信憑性に欠けるのではないかと考えています。

そんな中、イタリア王国最初の国会議事堂を見る機会がありました。

写真を見てどこの劇場だろうと思っていたら、なんと最初の国会とのもので見に行ってきました。イタリア統一後の最初の首都は、トリノに定められたことはあまり知られていないのではないかと思います。1861年にイタリア王国が誕生してから4年間首都でした。その後フィレンツェ、そして現在のローマに移行し現在に至っています。国会議事堂のある建物は最初の統一イタリアの国王、ヴィットリオ・エマヌエーレ2世が誕生した宮殿でもあり、サヴォイア家の王宮群のひとつとして、ユネスコの世界遺産に登録されていることも初めて知りました。ということで、イタリア統一後現在のイタリアになったのはまだ160年程と歴史が浅いため、イタリア人は愛国心がうすいのかな…とったりしています。



### トリノで一番有名な飲み物、Bicerin (ビチェリン)

日本にも進出しているようなのでもうご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、トリノで愛されているビチェリンをご紹介します。今回初めてのビチェリン体験、ワクワクしました。

グラスでサーブされ、一番下はホットチョコレート、真ん中はエスプレッソ、そしてクリームと3層になっていて、その3つのそれぞれの味が口の中で溶け合うよう、「混ぜないで飲んでください」と言われました。そしてマクドナルドのように一緒にクッキーはいかがですか？

と勧められあまり気乗りしなかったのですが、NOと言えない雰囲気だったため注文してしまいました。ところが無理に注文して大正解でした！

それぞれのクッキーが、今までの人生の中でもNo.1(?)と言えるくらい美味しく大満足でした。お店の名前はアル・ビチェリン。色々なカフェでサーブされていますがこのお店が元祖。1763年に初めて作られてからの企業秘密で、そこで働く人達は製法を漏らさないようサインさせられるとのこと。このビチェリン、歴史上たかさんの人達に愛されていたようで、お店の中に肖像画がある、イタリア王国初代首相カヴール、作曲家プッチーニ、そして晩年をトリノで過ごした哲学者ニーチェ等々。

日本でもお店がオープンしているようであるため、トリノで愛されているビチェリン、ぜひお試しください！



カヴール首相

